

NIH、新再生医療研究内部センターのセンター長にマヘンドラ・ラオ博士を任命（8月3日）

国立衛生研究所（National Institutes of Health : NIH）は3日、NIHのフランシス・コリンズ長官（Francis Collins）が、マヘンドラ・ラオ博士（Mahendra Rao）をNIHの新再生医療研究内部センター（NIH Intramural Center for Regenerative Medicine : NIH-CRM）のセンター長に任命したことを発表した。同研究センターは、人工多能性幹細胞（induced pluripotent stem cells : iPSC）の研究を含む、幹細胞技術における世界クラスのセンター・オブ・エクセレンス（COE）となることを目指しており、研究資金はNIH共通資金（NIH Common Fund）から拠出される他、同センターにおける研究活動は国立関節炎・骨格筋・皮膚疾患研究所（National Institute of Arthritis and Musculoskeletal and Skin Diseases : NIAMS）の管轄下に置かれることになっている。同センターのセンター長に任命されたラオ博士は、幹細胞分野の研究で20年以上の経験を持ち、ヒト胚性幹細胞（human embryonic stem cells : hESCs）やその他の体性幹細胞に関する研究において国際的に著名な人物である。

U.S. Department of Health and Human Services, *NIH appoints Director of Intramural Center for Regenerative Medicine*

<http://www.nih.gov/news/health/aug2011/od-03.htm>